

(別添様式2)

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
檀原市	檀原市立真菅北小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

- (1) 「子どもは地域の宝」という考えのもと、学校と地域、保護者が連携して健やかな児童の成長のために協力する。
- (2) 児童の安全確保を中心に、学校が必要とする支援を保護者・地域が連携して推進していく。

2 特徴的な取組の概要

■<登下校等の安全確保・見守り活動>年間約200日実施
オレンジベストを着て、地域の皆さんが曲がり角や危険箇所等に立ち、立哨・見守り活動を行ってくださった。自動車の交通量が急激に増加してきているが、地域やPTAの皆さんのお陰で、児童の安全確保を図ることができた。また、遠足や校区探検で児童と一緒に歩き、安全確保をしていただいた。



■<運動会の日よけネット設置支援活動> 年間5日実施
地域・保護者の皆様に加え、教職員も一緒になって、見事な手作りの「日よけネット」が完成させた。これは、運動会実施のために、数年前から「熱中症対策」として地域の皆さんにご協力いただいている。



■<読書ボランティア>毎週月曜日朝

図書ボランティアの方々に4月より、1年生に朝の時間を利用して読み聞かせをしていただいた。3月には卒業前の6年生に読み聞かせをしていただいた。

図書室の利用が多くなり、本が大変傷みますが、それについても、図書室の整理のボランティアの方が本の修理をしていただいた。



■<学習支援ボランティア>5・6年の家庭科の授業時間

学習支援ボランティアが、配慮や支援を必要とする児童に関わって授業支援に入ったり、休み時間に一緒に遊んだりした。また、家庭科の実習時には、裁縫のアシスタントとして実習補助に入ってもらった。

